

令和8年度 技術・家庭科 家庭分野 評価規準 1年

| 項目 | 時数 | 評価規準 |
|--------------------|----|---|
| 衣服の役割と目的に応じた衣服の選択 | 4 | ・衣生活と社会とのかかわりについて理解している。目的に応じた着用について理解している。(知・技) |
| 和服の文化と衣服の選択 | 3 | ・和服の文化と着装を理解し、特徴を知る。(知・技) |
| 日常着の手入れ | 4 | ・衣服の材料や状態に応じた手入れについて理解している。(知・技) ・衣服の補修の仕方を理解し、手入れをすることができる。(知・技) |
| 衣生活の課題と実践 | 2 | ・自分や家族の衣生活や環境について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどしている。(主体的に取り組む態度) |
| 住まいの働きと安全 | 4 | ・住まいの基本的な機能について理解している。(知・技) ・家庭内事故などの家族の安全を考えた住空間の整え方を理解している。(知・技) ・自然災害に備えた住まい方を理解している。(知・技) |
| 持続可能な住まいを目指して | 3 | ・社会や環境に配慮した住生活について問題を見出して課題を設定している。(主体的に取り組む態度) ・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。 (主体的に取り組む態度) |
| 衣服の補修 | 2 | ・スナップボタンの正しいつけ方について理解している。(知・技) ・まつり縫いの正しい縫い方を理解している。(知・技) |
| 布を用いた生活を豊かにするものの製作 | 6 | ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、 用具を安全に取り扱い、適切に制作できる。(知・技) |
| 家庭生活と地域の関わり | 5 | ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 (知・技) ・高齢者のかかわり方について理解している。(知・技) |
| 持続可能な家庭生活を目指して | 2 | 持続可能な社会を目指して家庭・保育・地域などの生活について問題を見出して課題を設定している。(思・判・表) |

合計 35 時間